

平成20年7月17日
於
府中市立教育センター

平成20年第7回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成20年第7回府中市教育委員会定例会会議録

1 開 会 平成20年7月17日(木)

午後1時30分

閉 会 平成20年7月17日(木)

午後2時17分

2 会議録署名員

委員 北島 章 雄

委員 新海 功

3 出席委員

委員長 久 芳 美恵子 委員 谷 合 隆 一

委員 北島 章 雄 教育長 新海 功

4 欠席委員

委員長職務代理者 崎 山 弘

5 出席説明員

教育部長 糸 満 純一郎 文化スポーツ部長 大 野 明

教育部副参事 酒 井 泰 文化スポーツ部次長 齋 田 文 雄

総務課長 三ヶ尻 秀 男 文化振興課長 後 藤 廣 史

総務課長補佐 河 野 孝 一 生涯学習推進担当副主幹 山 村 仁 志

学校耐震化等推進 宮 本 正 男 美術館副館長 石 井 順 子

担当主幹

学務保健課長 田 中 陽 子

給食担当副主幹 新 藤 純 也

指導室長補佐 佐々木 政 彦

指導室副主幹 師 岡 政 行

統括指導主事 花 田 茂

指導主事 長 田 和 義

指導主事 出 町 桜一郎

指導主事 長 井 満 敏

指導主事 国 富 尊

6 教育委員会事務局出席者

総務課係長 田 中 啓 信

総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 報告・連絡

(1) 郷土の森博物館特別展

発掘！府中の遺跡「発掘された戦争の記憶&調査速報」について

(2) 平成20年度平和事業について

(3) 美術館常設展特別企画

「ぱれたんの大冒険～4つの宝をGETせよ！！」について

第4 その他

第5 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成20年第7回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会議録署名員の選定ですが、北島委員と新海委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

今回の定例会におきまして、崎山委員より、都合により欠席する旨の届出を受けておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定により、在任教育委員の過半数の出席を得ておりますので、この定例会は有効に成立いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日は傍聴希望者が1名おりますが、傍聴を許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

お願いします。

_____ ◇ _____

◎郷土の森博物館特別展

発掘！府中の遺跡「発掘された戦争の記憶&調査速報」について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡でございます。

報告・連絡（1）について、文化振興課、お願いいたします。

○文化振興課長（後藤廣史君） それでは資料1に基づきまして、「郷土の森博物館特別展 発掘！府中の遺跡展」につきましてご案内いたします。

チラシをご覧ください。会期は、今度の土曜日、7月19日から8月31日までの夏休み期間となります。この「発掘！府中の遺跡展」は、前年度の調査成果を概略で紹介するとともに、特定の時代や遺物を取り上げたテーマ展示を行っております。今回は太平洋戦争にスポットを当てることにしました。

チラシの写真は、白糸台の掩体壕でございます。市では、戦闘機「飛燕」を格納しました、この掩体壕を保存し、活用していくことを決定し、発掘調査も実施しております。この発掘調査の成果のほか、戦時中の、例えば代用品などを展示いたします。

なお、下の方にあります文化財対談「白糸台掩体壕と調布飛行場」を、今月27日の日曜日、郷土の森で行いますので、ご案内いたします。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） 何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。お願いします。

○委員（新海 功君） 府中市は、歴史に富んだまちとして、遺跡は縄文から近現代まで、すべての時代がそろっています。弥生時代も、弥生の物が出てこないといっていたら、競馬場から出てきました。これだけ全部の時代がそろっている中で、今回は、いわゆる近現代に当たる場所の展示会です。そういう位置づけになりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、報告・連絡（1）について了承いたします。

◇

◎平成20年度平和事業について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（2）について、生涯学習スポーツ課、お願いいたします。

○生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君） それでは、生涯学習スポーツ課より、平成20年度平和事業について報告いたします。

お手元の資料2、主にピンク色とクリーム色の映画のチラシ、そして平和行事展のチラシをご覧ください。

府中市では、昭和61年8月15日に、世界平和への願いと愛する郷土を未来に引き継ぐ決意のもとに「府中市平和都市宣言」を行いました。この趣旨に沿って、記載の事業を平和に関する啓発事業として実施するものです。

ピンク色のチラシは、8月9日上映のアニメ映画「クロがいた夏」、クリーム色のチラシは8月23日上映の映画「夕風の街 桜の国」のご案内です。

本年度は8月23日に、初めて長崎の被爆体験者に上京していただきましてお話を伺うほか、長崎原爆資料館に全面的にご協力をいただき、原爆資料等のパネル展示を行います。

また、1954年にビキニ環礁で行われたアメリカの水爆実験で被爆した「第五福竜丸」のパネル展示も、記載の日程と場所で行います。

より多くの方々に戦争と原水爆の悲惨さを知っていただき、平和への意識が高まることを願っております。

以上で生涯学習スポーツ課の報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

それでは、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

一つお願いなのでございますが、何年か続けて講話と映画の会に出席させていただいているのですが、とても残念なのは、若い方がすごく少ないのですね。やっぱり年配の方が多い。それが悪いというわけではないのですが、ぜひこの講演も、それから「夕風の街 桜の国」というのは、私も見ましたが、とてもすばらしい映画でした。ぜひ若い方に行って話をつないでいていただきたいと思いますので、各学校等への広告というか、宣伝の方をぜひよろしくお願いいたします。

ほかに、よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡（2）平成20年度平和事業について了承いたします。

◇

◎美術館常設展特別企画

「ぱれたんの大冒険～4つの宝をGETせよ！！」について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡（3）でございます。美術館、お願いいたします。

○美術館副館長（石井順子君） それでは、美術館からお知らせいたします。水色のチラシをご覧くださいと思います。

府中市美術館では、8月24日の日曜日まで、美術館の常設展示で、夏休み特集「ぱれたんの大冒険」を開催いたします。美術館のキャラクターである妖精のぱれたんが楽しく紹介する

展示となっております、推理する、感じる、つくる、旅するなどの冒険を通じて、いろいろな作品鑑賞の楽しみ方を体験できる内容となっております。夏休みの自由研究にも役立つものと考えております。

さらに、この24日の展示が終わった後、展示替え中の休館日に当たりますが、児童・生徒を対象として、8月26日の火曜日から31日の日曜日まで、美術館1階市民ギャラリーで「夏休み終盤かけこみスペシャル」を開催いたします。学びのパスポートや鑑賞教室で多くの児童・生徒の方に訪れていただくこととなっております。

なお、このチラシを全小・中学校の児童・生徒の方々に配布を実施しております。

以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

報告・連絡（3）について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

とても良い子どもたちにアピールするようなパンフレットで、たくさん来てくれることだろうというふうに思います。

それでは、報告・連絡（3）美術館常設展特別企画について了承いたします。

報告・連絡は以上でございますが、その他について、いかがでございましょうか。特にございませんでしょうか。



◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） それでは、教育委員報告にまいります。お願いします。

○委員（北島章雄君） それでは北島より報告させていただきます。

6月15日、「2008ボールふれあいフェスタ」に出席いたしました。府中を拠点としたスポーツチーム、ラグビーですと、サントリーのサンゴリアス、東芝ブレイブルーパス、サッカーではFC東京、バレーボールではNECブルーロケッツ、バスケットボールではトヨタ自動車アルバルクと、トップアスリートの皆さんが、多くの市民の皆さんにボールを通じたスポーツの楽しさを伝え、体験していただき、とてもいい機会だと思いました。

それから6月22日、スポーツ・レクリエーションフェスティバル開会式に出席いたしました。このフェスティバルは、市民体育協会及び各競技団体が実施する専門的な競技ではなくて、これらの競技に参加しがたい層を対象に、多くの市内のスポーツを通じた仲間、クラブ活動等をしている老若男女の方々が大勢楽しまれておりました。

それから6月26、27日と、八ヶ岳移動教室の視察に行つて参りました。26日は八ヶ岳中央農業実践大学校での、第八小学校の体験学習を視察いたしました。八ヶ岳の大自然に恵まれた中で、シラカバの苗を植樹しておりました。生徒と夕食と朝食を一緒にしたところ、生徒たちはマナーを守って楽しく食事をしておりました。27日は、大門沢というのですか、それからJR最高地点のコースのハイキングを視察しました。そしてサンメドウズというところで自然を満喫させていただきました。

7月8日、オーケストラ鑑賞教室に出席いたしました。小学校5年生を対象としたオーケストラの鑑賞、指揮者の方がそれぞれの楽器を丁寧に楽しく説明してくれたり、すばらしい演奏をしてくださいました。その中、生徒たちの全員合唱は、オーケストラを上回る大音で、指揮者の方が、楽器に勝るものは合唱ですとおっしゃられておりました。

7月10日に教育委員会訪問で第十中学校と南町小学校に行きまして。

第十中学校では、生徒数が215名と市内で一番少ない学校でした。でも、学校のある場所は田畑が混在し、閑静な住宅街、また地域住民との交流も盛んとお聞きしました。学校での保護司会との連携とか、それから民生委員の学校訪問等で、委員の方から落ちついているという話もあり、地域との交流が評価されているのかなという感じがいたしました。

耐震工事に関してなのですが、十中の校舎の耐震工事は、あまり目立たずに、すばらしくできていたと思います。ただ、体育館の方は、屋根の上の方に、梁に横につけた関係で、ちょっと天井が低くなってしまったのかなというような印象を受けました。

南町小学校なのですが、地域や保護者の方々の協力で、伝統の水田学習が行われておりました。南町は地域交流が盛んで、学校も地域に守られているのではないかなというふうに感想を持ちました。南町小学校では給食をいただきました。サケのムニエル、トマトスープ、アスパラスパゲッティ、パン、牛乳をおいしく食べさせていただきました。

以上です。

○委員（谷合隆一君） 谷合から報告させていただきます。

6月22日、市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルの開会式に出席をさせていただきました。数多くある種目の中で、ニュースポーツと呼ばれる種目に人気があるのだなということを実感いたしました。

6月26、27日で、皆さんと一緒に八ヶ岳移動教室の視察出張ということで、第八小学校の児童の皆さんと一緒にいきました。その中でちょっと気づいた点は、八ヶ岳農業実践大学校というのは、敷地面積が223ヘクタールという広大な土地で、牛舎や鶏舎、豚舎、研修棟や体育館などが点在しておりまして、畑や温室等を案内してくださった先生の、ご本人は普通に歩かれているのでしょけれども、大変歩くのが早くて、ついていくのが大変なほどだったのですけれども、大自然の中で、先ほども北島委員から報告がありましたように、子どもたちがシラカバの植樹をしておりましたり、他の学校からも研修に来ている小学生もいましたけれども、ジャムづくりですとか、搾乳ですとか、拝見させていただきました。参加させていただいて、大変勉強になったなと思いました。

2日目は、北島委員の報告のとおりでございます。

7月1日、青少年問題協議会に出席をいたしました。これは毎回なのですが、参加団体といえますか、参加者は、警察署の署長さんですとか、立川の少年センターですとか、いろいろなところから参加してくださっているのですが、報告を一通りすると、もう時間がなくなってしまふというようなことで、これだけの方たちが集まっているのだから、何か一つテーマを決めて、問題解決のアイデアを出し合えるような時間をつくれたら、もう少し有意義な会になるのではないかなと思いました。

それから7月4日、小学校のオーケストラ鑑賞教室、午後の部に伺いまして、教室というだけのことはありまして、指揮者の梅田俊明さんが、大変わかりやすく楽器の説明やクラシックの鑑賞の仕方などを子どもたちに教えてくれました。音楽が終わったときに、まだ余韻があるうちに拍手をし始めたという場面がありまして、そのときにも、今日はいいいんだよと。今度聞きに言ったときには、余韻を楽しんで、指揮者の手がおりましたときに拍手を始めると、もっといいいんだというようなお話をされたのが、大変印象的でした。

それから7月6日、韓国の現代美術、いわゆる企画展の開会セレモニーに参加させていただきました。その後、初めてその企画展を拝見させていただいたのですが、こんなに近くにある国で、やはり違う文化とか環境の中で、我々と同じような年代の人たちが、大変厳しい中で生きてきたのだなど、また、その自分たちの表現ですとか思想をなかなか発表しにくい中で生きてきたのだなどということ強く感じましたし、この企画展を見に来る市内の子どもたちにも、ぜひそういったことを少し事前に勉強していただいて、この企画展を見ていただければ、その一つひとつの作品の感じ方が違うのではないかなということを感じた次第です。

以上です。

○委員(新海 功君) 教育長新海より報告します。たくさんありましたので、なるべく重ならないように報告をさせていただきます。

1点目は、6月12日、日本卓球リーグのシチズン対東信電気の試合が府中の総合体育館で開かれたので、それを観戦させていただきました。特に、シチズンに並木佑介という選手がいるのですが、この選手は府中第六中学校出身です。この選手がトップバッターで出てきて、最初の試合で、見事勝ちました。こういうのを小・中学生が見たときに、相当励みになるのではないかと思います。若い選手の活躍というのは、子どもたちの目標に、より身近になるのではないかなと思いました。

それから、このレベルの試合というのは、それこそ目の前で見ていただきましたけれども、ボールが消えて見えなくなってしまうほどです。入ったのか入らないのかわからないくらいの球の速さです。審判はよくわかるなと思いましたけれども、それぐらいすばらしい試合でした。並木選手、これからも活躍すると思いますけれども、機会があれば、それこそ「ようこそ先輩」のような、そんな形で母校を訪れてくれるとありがたいなと思ったところでもあります。

2点目は6月13日の金曜日、文教委員会が開かれました。付議事件は1件で、陳情第3号、文化庁への要請「漢字を国語研に研究させるべし」に関する陳情でありましたが、これは不採択。それから協議事項1件、報告第57、府中市立若松小学校校舎耐震改修工事(その2)の契約状況について、これは了承されました。

3点目は6月14日の土曜日でありましたが、府中市小・中学校PTA連合会主催の「教育長と語る会」がもたれました。これに出席をして、講演を私がさせていただきました。演題については「府中市の教育について」ということと、「子どもってなあに」ということで、子どもの本質についてお話をさせていただきました。両方ともパワーポイントを利用してお話をし、時間いっぱいかかるような形になって、その後、先ほどのお話ではないですが、協議については2~3という形にとどまってしまいました。本当はそこでしっかり話し合いが持てるのがいいかなと思ったところでもあります。

それから4点目は、これはちょっと重なりますけれども、例の6月15日、日曜日に行われた「ボールふれあいフェスタ」であります。特に、エキジビションとしてタグラグビーを、サントリーサンゴリアス、そして東芝ブレイブルーパスのチームと白糸台小学校と南白糸台小学校のチームがやりました。これがなかなか見事で、子どもたちの動きもかなりこなれてきていました。それからもう一つは、トヨタのバスケットボールチーム、アルバルクのスター選手が出てきて子どもたちとやりました。これは子どもたちの方が勝ちました。そういう形で、タグラグビーは府中の小学校に根づいてきているなということを実感したところでもあります。

5点目は、武蔵府中ロータリークラブの創立20周年記念式典がありましたので、代表して参加させていただきました。この武蔵府中ロータリークラブでは、特に人権作文で大変お世話になっていること、それから、米づくりだとか、あるいは林業体験とか、そういったことでお世話になっています。また、そのほかにも、地域のスポーツ振興、こちらの方にもご尽力いただいています。そのお礼も申し上げたところでございます。

6点目は、6月25日の水曜日、学校評価システムの構築等についての教育行政視察があったわけですが、私の郷里である松山市の教育委員会の教育委員長さんや職務代理者、事務局の方が4名で見えられました。府中市で取り組んできている学校評価システムについては、去年も私自身が、区市町村教育委員会研究協議会の第1ブロックの集まりで発表させていただきましたけれども、松山市教委の方々は文部科学省から紹介されて府中市を訪ねたということでした。パワーポイントを使って、こういう取り組み方をしているという話と同時に、その背景にどういう考え方があってこのような取り組みをしているのかというお話をさせていただいたのですが、大変いい勉強になったということでお帰りになられました。自分のところの方式に合わせながら、いい点を取り入れていきたいということでもありました。

それから7点目は、6月28日の土曜日に、東京府中ロータリークラブの、いわゆる作文発表会の表彰式がございました。これは、年々盛んになってきていて、もう既に34回を数える作文コンクールであります。出品されている作品が9,258点というのですから、もう間もなく1万点に達する勢いです。そういう作品の中から200何名の子どもが表彰されました。非常に伝統のある発表会で、表彰の後、ロータリー賞をもらった子どもたちの朗読もありました。今年度のテーマというのは小・中共通で「私が成長したこと、できたこと」、それから副題が「家族、友達、地域のかかわりを通して」ということでした。実にいいテーマだと思いました。作文に書く値打ちのあるテーマであり、自分自身を見つめる、あるいは自分を取り巻く周囲とのかかわりをしっかりと見つめ直さないと書けないという、そういうテーマです。そして、書き込んでいくことで自分の考えが深まり、自らが成長できるという、そういったテーマでもあったし、また発表された作文もそういった内容のものでした。

それから8点目は、6月27日の金曜日の午前6時35分ごろ、府中市是政三丁目付近の中央自動車道高架下の公園内において、路上生活者が殺されるという事件が発生しました。八ヶ岳移動教室視察2日目の朝にその報を受けて、特に、学校内への侵入を防がなければいけないということ、登下校時の配慮をしなければいけないこと、それから校外学習、例えば生活科等で外へ行くのは取りやめにするとか、それから金曜日でしたから、すなわち週末、土・日の過ごし方の注意喚起をするといったことを、事務局の方から学校へ連絡をするよう指示しました。その後、犯人が捕まったわけではないので、近隣の学校を中心に、登下校、それからいろいろな行事のときとか、そういったことを含めまして、いまだに警戒態勢にあるということでもあります。近くの学校では、今学期中は集団登校をするとか、下校に対してもそういった配慮をするとかいう取り組みが、今もって続いているところです。早く犯人が捕まってくれることを願っております。

それから9点目は、6月30日の夜ですけれども、この教育センターにおいて、府中市の小・中学校長会が主催しております自主研修会がありました。そこで私が講演という形で「21世紀の教育展望と求められる管理職像」ということでお話をさせていただきました。今の大きな

課題というのは、教育管理職の受験者数が減ってきていることです。いわゆる団塊の世代の大量退職、それに伴って受験者数が減ってきているということがあるわけではありますが、そうしたときに管理職がどのような教育理念を持って、どのような姿勢で子どもに当たっていくかということが極めて大事な点となります。そういった点を中心にお話しさせていただきました。

10点目は、平成20年度社会を明るくする運動の第27回多摩地区更生保護事業関係の会が開かれました。これは北島先生と谷合先生、お二人の関係している会ではありますが、139名、2団体の方が、献身的に、奉仕的にご努力されたことに対し表彰を受けました。その場面に臨席をさせていただきました。

それから、そのときに、白糸台小学校の和太鼓が、アトラクションという形で演奏しました。出席された皆さんの、非常に温かい拍手の仕方というものが印象に残りました。子どもたちが最初にあいさつをして、詰まったりすると、皆さん、頑張っている感じで待っているんですね。そういう方々の気持ちと、子どもたちが一生懸命演奏する姿というものが、お互いに響き合って、いい光景だったと思いました。

白糸台小学校は、「府中勇み駒」というのと、それから「多摩川流れ打ち」、「くらやみ太鼓」、この3曲の演奏をしました。演奏もよかったと思いました。それは、どういう点がよかったかということ、バチがそろっているということは、もちろん基本的に大事なことで、いいなと思ったのですが、バチを打つ一つひとつに思いを込めているというか、子どもなりの思いが込められているというか、ああいうのが大事なことなのだなということを改めて思ったところであります。

それから最後、11点目になりますが、給食関係の会に3回出席いたしました。

一つは、6月20日の午後に行われた平成20年度第11回学校給食センター運営審議会です。ここであいさつをするとともに、学校給食費についての諮問をさせていただいております。

それから2点目は、7月7日、月曜日に行われました平成20年度府中市学校給食会監査です。あいさつをすると同時に、平成19年度の事業報告書及び決算書に基づいての学校給食会の監査をお願いいたしました。

それから3点目は、7月15日の火曜日でありました。平成20年度第1回府中市学校給食会理事会が開かれました。議案としては、一つが平成19年度府中市学校給食会事業報告について、もう一つが平成19年度府中市学校給食会給食費会計決算報告並びに監査報告についてでした。それから、報告として二つありました。一つは学校給食費未納対策委員会の設置について、もう一つが食材費高騰について、この2件を扱いました。学校給食の課題も多岐にわたっておりまして、課題解決に向けて、現在、取り組んでいるところであります。

以上です。

○委員長（久芳美恵子君） それでは、久芳より報告いたします。

6月22日、谷合委員、北島委員からも報告がございましたスポーツ・レクリエーションフェスティバルの開会式に参加いたしました。開会式に参加するほとんどの方が中高年の方々でありまして、開会式後になされた三つほどの演技を拝見いたしました。太極拳とダンスだったのですが、やはり熟練の方と、始めたばかりという初心者の方がいらっやいまして、非常に楽しんでいる様子がよくわかりましたが、先ほども言ったように、ほとんどの方が中高年の、

それも女性で、男性はちらほら、1割もいなかったのですね。男性の方の趣味が、こういうことよりも、もしかしたら将棋とか囲碁とか、割と静的なものにあるのかなというような感想も持ちましたけれども、これではちょっとますます女性が長寿になるのではないかと思ったわけでございます。

帰りがけに、たまたま修景池の方に回ってみました。冬にはずっと改修していたようで、水がまるで泥状態だったのですけれども、その日は大賀ハスが幾つかきれいに咲いておりまして、一年を見越したような手入れがきちんとなされているのだなという印象を持ちました。

6月26、27日の八ヶ岳移動教室の視察出張でございますが、やはり2泊になったことで、丸一日使えるような日ができましたので、さまざまな試みがなされているのだなというような印象を受けました。特に、農業実践大学校での植林なのですけれども、ここでの活動というのは、先ほどご紹介がありましたように、ジャムづくりだとかチーズづくりだとか、乳牛の搾乳だったり、いろいろありまして、おそらくこれは各学校が活動を決めるのだと思うのですけれども、私は、もしできたら、ここ7～8年か10年ぐらい、八ヶ岳に行く学校はぜひ植林をしていただいて、府中の森みたいなものをそこにつくればいいなと思いました。と言いますのは、植林を見た後でぐるっと案内していただいたところどころに、どこかの市の森みたいなものが幾つかあったのですね。そんなようなことがありましたので、もしそこで植林をすれば、地域の中で森林が減っているということもありますので、環境を整えるというようなことを、子どもたちが教科書とか先生のお話で学ぶことと同時に、こういう形で実践できたら、非常にインパクトがあるのではないかというふうに、そんな印象を持ちました。

あと、これは何て言いましょうか、言わずもがなというか、ちょっと余計なことなのかもしれませんが、八ヶ岳府中山荘が、ちょっとお部屋の内装ですね。ふすまとかドアとか、そろそろ張りかえの時期なのではないかなと。子どもたちは、あまり気にならないでしょうが、市民の方々が憩いという形で行くと、ちょっと汚いなというふうに思われるのではないかなという、主婦の視点でそんな印象を持ちました。

非常に充実した活動がなされていて、とてもうれしく思いました。

7月6日に「民衆の鼓動 韓国美術のリアリズム(1945～2005)」の開会セレモニーに、谷合委員とともに出席いたしました。この絵画は、年代にあるように、第二次世界大戦後、60年間の絵画でございます。それで、南北に分断された悲哀であるとか、その後、民主化運動への弾圧等々に関しての絵が非常に多かったわけで、これは私、聞きかじりですが、韓国文明というか、中身は「怨」、怨みという文字ですね。「怨」というものがずっと流れているのだという、これは中国との関係とか、いろいろあると思うのですが、そういうものを非常に力強く感ずる絵画がほとんどで、圧倒されました。私は映画が好きで、よく見るのですけれども、韓国映画の南北の境界を挟んだ人生であるとか、それから「シルミド」というものがございすけれども、これはまだ南北が対立していたときに北のトップを殺害しようという計画があつて、それに用意された人たち、犯罪を犯した人たちが過酷な訓練を、そのシルミドです。実際にいざ実行というときになって南北融和が図られることになりまして、実行はされなかったわけなのですが、その後、その訓練された人たちがどうなったかという、結局全員が虐殺されたのですね。非常に衝撃的な映画でございましたけれども、そういったような社会派の映画を彷彿とさせるようなものを、その絵画に感じました。

先ほど谷合委員からご報告がありましたように、絵画そのものも非常に力強いし、そしてまた、過激なものもございますけれども、やはり一つの国の歴史なり文化なりを理解するために、展覧会全体として子どもたちに見てもらえればなと思いますし、そのためにはやはり学習をしていって、ふらっと行くのではなくて、やはりどういう意味があるのかということを経験の中で教えていただいて、学習して行ってほしいなということをお大変強く感じたものでございます。

次に、最後でございますが、7月12日の朝に「ハスを観る会」で修景池に行きまして参りました。第48回ということで、随分昔から開催されているのだなと思いましたが、早朝から非常に多くの人でにぎわっていて、ポスターとかハスの実を配布していただけるということで楽しみにしていたのですが、とてもその順番には当たりませんでした。もう中には本当に早くから来ていただいた方が多くて、皆さん、車座になって朝食を食べている方とか、あと、やはり男の方が、もうプロ仕様の本当に重たそうなカメラで、何人も撮っているんですね。大賀ハスというのは非常に有名なわけですが、ハスにもいろいろ種類があるということもわかりました。

それで、幾つか名前がついているハス、二つご紹介したいのですが、ご存じと思いますが、「酔妃蓮」という非常にたおやかな名前のついた、非常にきれいなハスなのですが、そのハスは、またの名を「孫文蓮」というのだそうです。どういう関係があるかということ、孫文が革命前後に日本で亡命生活をしましたが、そのときに援助をした民間の方に、孫文からそのお礼ということで、その実が贈られた、その花なのだそうでございます。

それとか、「日中友誼蓮」という花がありまして、一体どういう花かと思いましたが、それは大賀ハスの種を、中国のある植物園で中国の品種とかけ合わせてできたものなのだそうでございます。

いろいろその他にもいっぱいございましたけれども、こういうハスというものもいろいろ、花一つにもいろいろな歴史があるのだなということを感じました。

早朝から係の方々が大変おおいでになって、大変ご苦労さまでございました。とても楽しませていただきました。

以上でございます。

それでは、本日の平成20年第7回府中市教育委員会定例会を、これにて閉会といたします。ご苦労さまでございました。



午後2時17分閉会